

能登町公民館 キャラクター

能登町内には、公民館が15館あります。それぞれの公民館・地域の歴史・文化・産業などの特徴を反映した、公民館PRキャラクターたちをご紹介します。



宇出津公民館

【あばれちゃん】

宇出津の夏を彩る「あばれ祭り」と町指定文化財「ごいた」をイメージしたキャラクター。キリコの屋根を頭に兜のようにかぶり、法被を着て、ごいたの駒を手を持つ。今にも祭りへ駆け出していきそうな、活発な女の子。



高倉公民館

【たかくらちゃん】

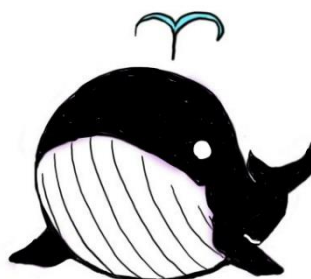
国指定史跡「真脇遺跡」をイメージしたキャラクター。縄文時代の一般的な服装である貴頭衣（かんとうい）を着て、土器の仮面、鳥さん土器の愛称で知られる土器を模した帽子をかぶる。縄文人の元気な女の子。



神野公民館

【おにぎりちゃん】

米どころであり、アエノコトを公民館で継承していることをイメージしたキャラクター。カラフルなおにぎり模様の着物を着て、大きなおにぎりを抱える。神野の自然の豊かさを伝える女の子。



三波公民館

【海蔵院 庄治兵衛 (かいちゃん)】

三波地区には、集落ごとに鯨にまつわる伝説があることから、クジラを地区のマスコットに位置づけ活動を行っている。名前は、藤波の「海蔵院鯨」と矢波の「庄治兵衛鯨」を組み合わせたもの。



瑞穂公民館

【みずほちゃん】

町内で唯一テニスコートを備えた公民館であり、地区内にある龍伝説をイメージしたキャラクター。女の子が龍に乗り、左手には日本最古のテニスラケット、右手には優勝戦利品の米俵を抱えている。Tシャツには瑞穂のイニシャル「M」をあしらっている。



柳田公民館

【キシマちゃん】

縁結びにご利益があるという白山神社、十郎原の弓引き祭りに登場する猿田彦、のとキシマツツジをイメージしたキャラクター。ハート型の弓を構えた縁結びの妖精（女の子）で、猿田彦の鬼の帷子をイメージした衣をはおり、周囲をツツジが彩っている。



上町公民館

【スギくん】

江戸時代から地域を見守る宝暦杉、素朴な作りで知られる合鹿椀をイメージしたキャラクター。スギの木型ヘアースタイルの森の妖精（男の子）が、竹の水筒を側に、合鹿椀でご飯をほおぼっている様子。



小間生公民館

【カミテラちゃん】

久田和紙が有名であり、久田日枝神社の紙は「紙漉きの神」という伝承をイメージしたキャラクター。巫女風の女神が、榊（さかき）の枝の代わりに、和紙の原料であるコウゾを手を持っている。



岩井戸公民館

【イワオニくん】

猿鬼伝説をモチーフとしたキャラクター。岩の井戸を背にして立ち、猿鬼の着ぐるみを着ている男の子。猿鬼のお面を頭につけ、黒と赤の法被を着て、鬼印のペンダントを首からかけている。



松波公民館

【まつなみくん】

【こいじちゃん】

松波城跡と恋路伝説をモチーフとしたキャラクター。松波氏の家紋入り鉢巻をつけた武者姿のまつなみくんが、松明を手にするお姫様のこいじちゃんを肩車している。



秋吉公民館

【アマメちゃん】

伝統文化「アマメハギ」（ユネスコ無形文化遺産）と飛行家「大場辰男」氏をモチーフとしたキャラクター。秋吉号と銘打った複葉機に、アマメハギの衣装をまとった女の子が搭乗している。



不動寺公民館

【トモエちゃん】

巴御前（巴塚）や末次城の姫といった女性に関する伝説がある。トモエちゃん巴御前をモチーフにしたキャラクター。薙刀と華麗な装い、クールな青と紫の髪色で、頭上には烏帽子風の兜をかぶる。



白丸公民館

【四郎丸くん】

江戸時代にサツマイモ栽培を広げた浜谷七郎兵衛をモチーフとしたキャラクター。名前の「四郎丸」は「白丸」の古い時代の表記に由来する。カゴいっぱいサツマイモの収穫にいそしむ姿。



小木公民館

【おぎちゃん】

「イカ漁」と「小木のにやーにや言葉」をモチーフとしたキャラクター。女の子がイカの着ぐるみをまわって、全身でイカ漁を表現。魚は「にやーにや言葉」を猫に置き替えたイメージ。



鵜川公民館

【鵜結祭夏】

祭り好きな女の子で、太鼓と笛、ソフトテニスが得意。名前は、「鵜川の人々」、「鵜川と他の地域の人々」、「鵜川の昔、今、未来」を結ぶという願いがこめられている。右は鵜川の3偉人をモデルにしたキャラクター。



三波公民館・鵜川公民館以外は、沖田耐芽さん（能登就労支援事業所 やなぎだハウス生活支援員）にデザインしていただきました。

能登町公民館連合会
能登町教育委員会事務局
令和4年2月